

ごあいさつ

## 創立70周年にあたり、成長し続けてきた運動と事業を、感謝とともに未来へつなげます。



平素より、私ども静岡県労働金庫をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。ごさいます。

当金庫の事業の状況をご案内するため、ディスクロージャー誌「静岡ろうきんレポート」を作成いたしました。多くの皆さまにご高覧いただき、当金庫に対するご理解を一層深めていただければ幸いです。

2021年度からスタートした第4期中期計画（2021-2023年度）『Connect R70』では、「会員との協働」、「地域共生・持続可能な社会への貢献」、「環境変化に対応し先を見据えた戦略」、「ひとづくり・組織づくり」の4つを基本戦略に掲げ、各施策を進めております。

初年度となる2021年度は、基本戦略を軌道に乗せる重要な年度として、会員や運営委員の皆さまと当金庫の役職員が共に人と人、社会をつなぐ取組みを進めた結果、預金・融資ともに目標を上回る成果を得ることができました。これもひとえに皆さまのご理解とご協力によるものであり、この場を借りて感謝申し上げます。

金融機関を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続し、低金利環境の長期化、デジタル化の進展、異業種からの金融業への参入など、厳しさを増しています。また、新型コロナウイルス感染症や国際情勢の悪化などによる物価高騰に給与水準が伴わない状況は、勤労者にとっても可処分所得の減少を始め様々な影響をおよぼしており、先の見えない不安が拡がりを見せています。このよう

な環境下だからこそ、誰一人取り残さない持続可能な社会づくりのため、会員・勤労者の“つながり”をさらに強め、助け合いの輪を社会に広げていくことが協同組織の福祉金融機関である当金庫の果たすべき役割であると認識しております。

2022年度は、第4期中期計画『Connect R70』の中間年度として、3か年の目標を確かなものにするために、初年度の成果を受け継ぎながら着実に活動を進展させる大切な1年となります。また、2023年3月に創立70周年を迎える年度として『これまでの感謝を、これからの未来へ。』のスローガンのもと、未来志向の周年記念事業をスタートしました。創立の原点、〈静岡ろうきん〉の存在意義を見つめ直し、会員や利用者をはじめとして、関連団体の皆さまのこれまでのご協力・ご尽力に感謝し、これからの〈静岡ろうきん〉の運動と事業を未来につなげてまいります。また、引き続きお客様本位の業務運営に徹し、役職員が一丸となり、どこよりもやさしい（優しい・易しい）金融機関をめざし取組んでまいります。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2022年7月

理事長 増田 泰孝